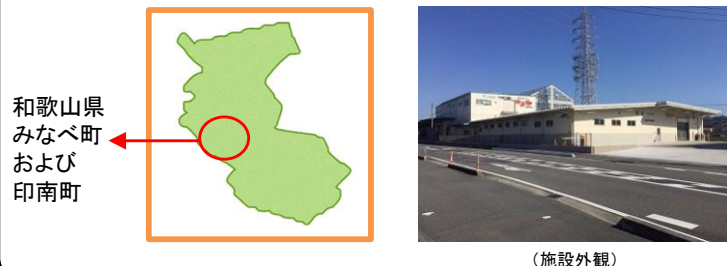


強い農業・担い手づくり総合支援交付金の取組事例 (R2年度:事業実施主体:紀州農業協同組合)(和歌山県)

取組の概要

対象品目 : 果樹(梅)(受益面積:189.6ha)
 成果目標 : ①ブランド品の割合増加
 基準(H30年度) 51.6%
 目標(R4年度) 68.4%
 ②契約取引の割合増加
 基準(H30年度) 39%
 目標(R4年度) 54.6%
 導入施設等: 農産物処理加工施設(梅加工施設)



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

近年、夏場を中心に梅干製品の需要が高まっており、現状の加工施設では十分に対応できておらず、また、令和3年6月から制度化されるHACCPへの対応も急務となっている。

このため、梅干製品の製造能力を向上させるとともに、HACCP認証の取得が可能な構造の施設を整備し、「紀州みなべの南高梅」ブランドの強化や、取引先の増加及び梅の消費拡大に繋げる。

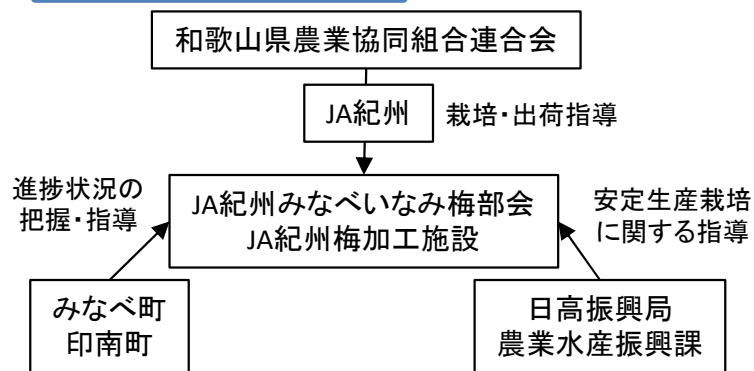


(加工設備)

【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

- ①ブランド産品強化のための梅加工施設を増強
- ②製造能力の向上によるブランド品の出荷割合が増加するとともに、HACCP認証取得によるブランド産品のさらなる信頼確保と取引が拡大

推進体制



地域における独自の取組

- ・定期的な栽培技術講習会の実施
- ・農地の確保等を含めた新規就農者の育成
- ・梅干し消費拡大に向けたPRの実施

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①製造能力向上による梅干製品の製造量増加及び品質向上
- ②衛生管理の順守による信頼確保

【事業実施による間接効果】

- ①ブランド品の取扱い強化による梅の消費拡大
- ②梅干製品の需要に対応し、施設経営が安定するとともに、生産者利益を確保

